

福岡県「社長年齢」分析調査(2024 年)

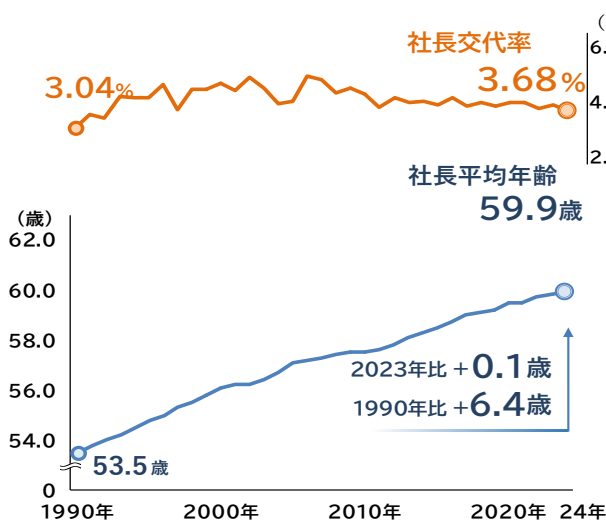
社長の平均年齢、59.9 歳、過去最高を更新 ～ 社長交代率は 3% 台で低迷、高齢化に歯止めかからず

「団塊の世代」の多くが 75 歳以上の後期高齢者となる「2025 年問題」が到来しており、「経営者の病气、死亡」による倒産も増加している。円滑な事業承継に向けて、早期に準備をする必要性が一層高まっている。

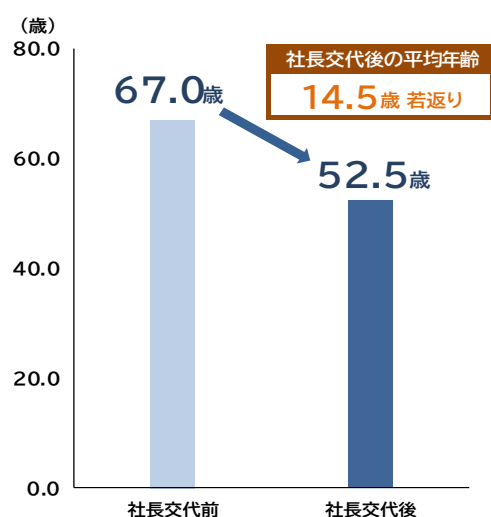
帝国データバンク福岡支店が実施した調査では、2024 年における九州企業の後継者不在率は改善傾向が続き過去最低の 52.9% となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化には歯止めがかからない状態が続いており、バトンタッチが間に合わず事業継続に影響を及ぼすケースが増加する可能性がある。

帝国データバンク福岡支店は、福岡県の 2024 年 12 月時点における企業の社長データ(個人、非営利、公益法人等除く)を抽出し、集計・分析した。

社長平均年齢/社長交代率の推移



社長交代前後の平均年齢変化



調査結果(要旨)

- 2024 年時点の社長の平均年齢は 59.9 歳。前年を 0.1 歳上回り、過去最高を更新
社長が交代した割合は 3.68%、2 年ぶりに低下
- 「50 歳以上」の社長は約 8 割、「40 歳未満」の若手経営者は 3.6%にとどまる

止まらぬ社長の高齢化、59.9 歳と過去最高を更新 社長交代率も未だ低水準

九州の社長平均年齢は、統計として遡れる 1990 年から毎年上昇し続けている。今回の調査でも同様の傾向となり、2024 年は前年比 0.1 歳上昇の 59.9 歳となった。加えて、2024 年における前年からの社長交代率は 3.68% となり、前回調査(3.87%)から 0.19 ポイント低下した。総じて、社長の世代交代に関して以前より活発な様子は見られず、福岡県において社長の高齢化はさらに進行しているといえよう。

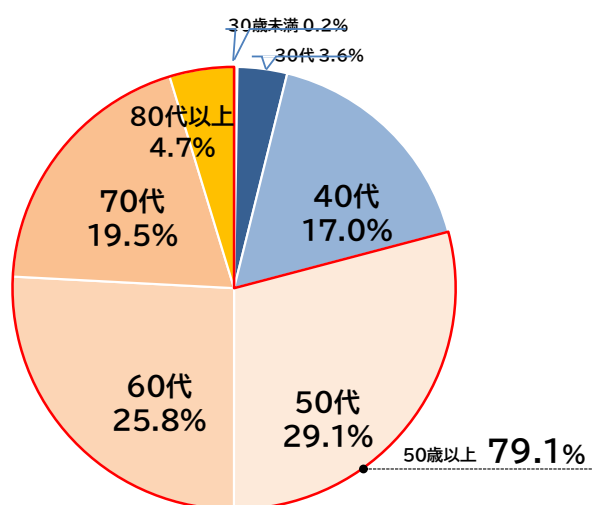
社長が交代する際の年齢は平均で 67.0 歳となった。高齢ながら社長として経営を続けることにはリスクがともなうなかで、70 歳近くで後継者にバトンタッチをしている結果に変わりなかった。そして、社長交代後に就任する新社長の平均年齢は 52.5 歳となり、14.5 歳の若返りがみられた。

<年代別構成比> 「50 歳以上」の社長は 79.1%と高水準、若手経営者はわずかにとどまる

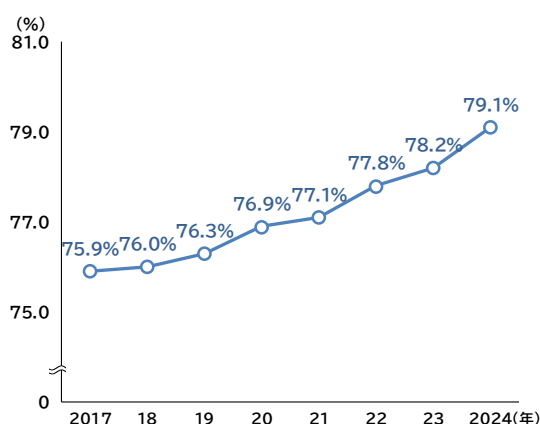
2024 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 79.1%となり全体の約 8 割を占める結果となった。「50 歳以上」の割合はほぼ毎年上昇しており、これまで過去最高だった 23 年の 78.2%を上回り、最高値を更新した。

近年はスタートアップなど新興企業を中心に若手経営者に注目が集まっているものの、「40 歳未満」は 3.8%、なかでも「30 歳未満」はわずか 0.2%に過ぎず、若手社長の割合は依然として低い水準にとどまっている。

社長の年代別構成比



「50 歳以上社長」の割合(各年推移)



<業種別>「製造」が 61.2 歳と高水準、4 業種で全体平均を上回る

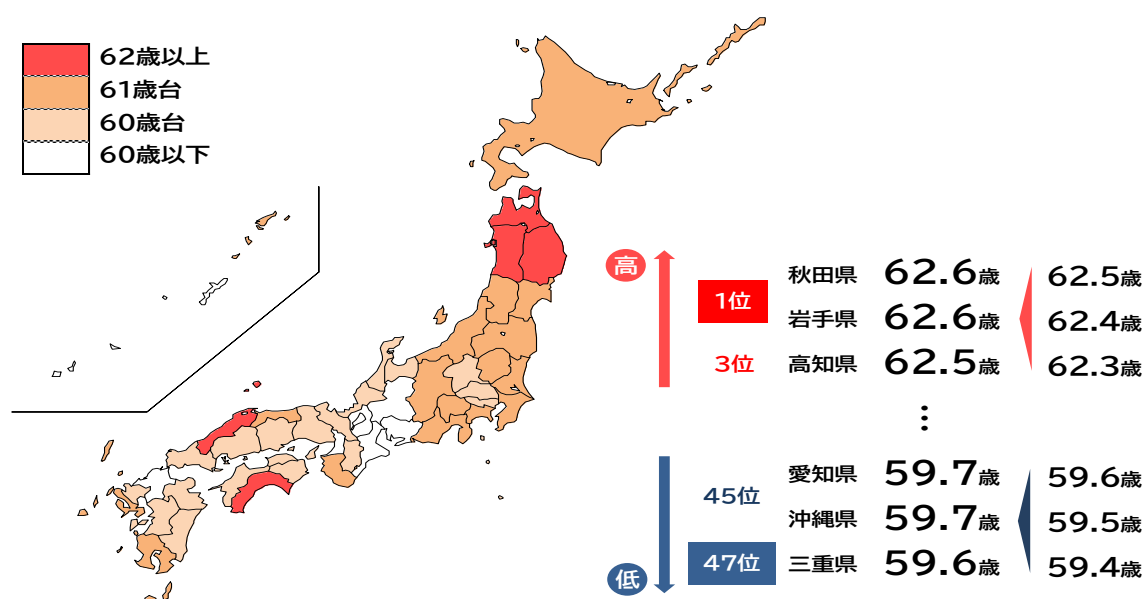
社長の平均年齢を業種別で見ると、「製造」が 61.2 歳で最も高かった。「卸売」の 60.9 歳が続き、その他、「建設」(60.3)、「その他」(60.1)の 4 業種が全体の 59.9 歳以上となった。

以下、「小売」「運輸・通信」59.1 歳、「サービス」「不動産」58.9 歳となった。

業種別 社長平均年齢・年代別構成比

	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2024	対95年比
								(歳)
全体	54.8	56.1	57.1	57.5	58.5	59.5	59.9	+5.1
建設	53.6	55.1	56.5	56.9	57.7	59.5	60.3	+6.7
製造	56.6	57.6	58.5	59.4	60.3	60.9	61.2	+4.6
卸売	54.9	56.5	57.5	58.3	59.5	60.5	60.9	+6.0
小売	54.0	55.1	56.4	57.2	58.4	58.9	59.1	+5.1
運輸・通信	57.4	57.6	57.1	57.0	58.2	58.7	59.1	+1.7
サービス	53.6	55.2	56.1	56.4	57.5	58.5	58.9	+5.3
不動産	55.8	58.2	59.8	59.4	60.3	58.8	58.9	+3.1
その他	57.1	57.2	57.5	57.4	59.2	60.0	60.1	+3.0

【都道府県別】社長の平均年齢推移

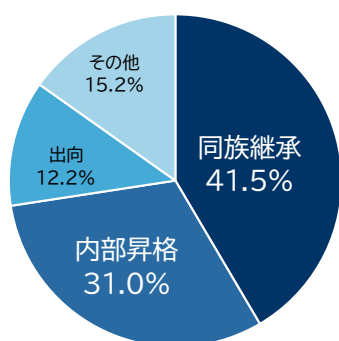


交代した社長の就任経緯、同族継承と内部昇格が多くを占める

交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族承継」が 41.5% で最も高く、「内部昇格」が 31.0% で続いた。「出向」は 12.2% だった。

就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、「同族承継」が交代前の平均年齢では 68.7 歳で最も高く唯一全体平均を上回っている。「出向」が 58.7 歳で最も低かった。交代後では、「出向」が 57.3 歳で最も高く、「同族承継」が 50.0 歳で最も低かった。交代前と交代後の年齢差でみると、「同族承継」が 18.7 歳と最も開きが大きく、若返りが大幅に進んでいる。

社長交代企業・就任経緯別分析



就任経緯	平均年齢 (歳)		年齢差
	交代前	交代後	
同族継承	68.7	50.0	18.7
内部昇格	61.6	54.0	7.6
出向	58.7	57.3	1.4
その他	62.1	55.1	7.0
全体	67.0	52.5	14.5

※「全体」は2024年の社長交代企業を指す

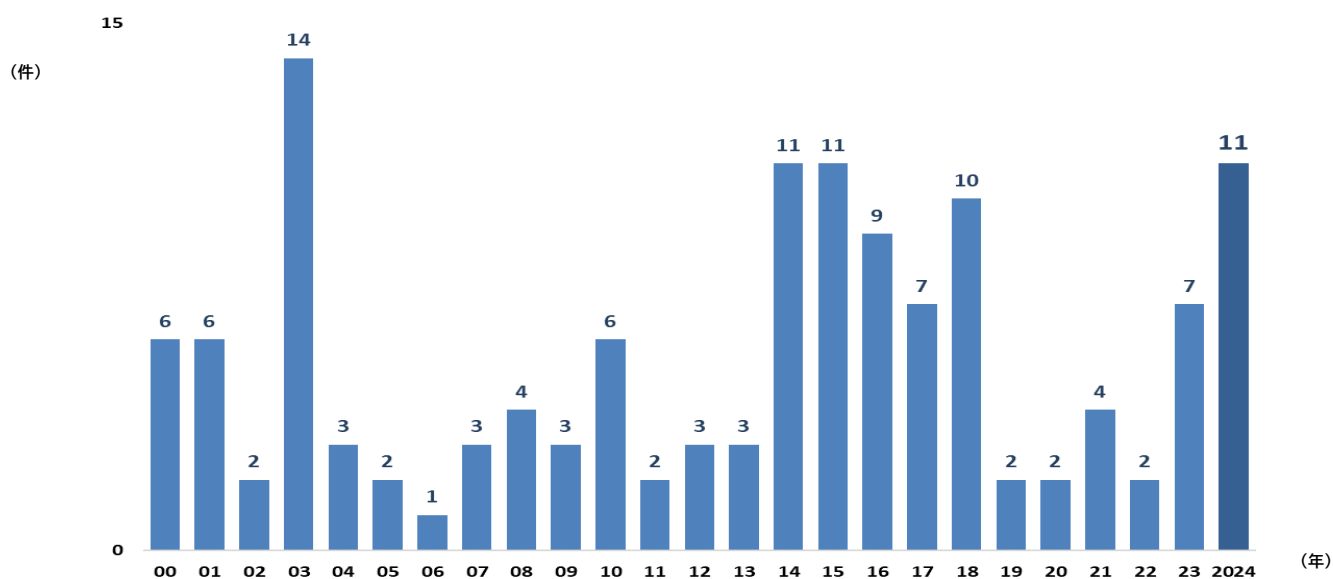
高まる「社長の高齢リスク」、事業承継への早期着手が焦点

福岡県における社長の平均年齢は 59.9 歳となり、過去最高を更新した。社長が「50 歳以上」である企業の割合は引き続き 8 割に迫るなど、「社長の高齢化」が一層深刻になっている。直近では社長交代率が低水準にとどまっており、社長の平均年齢は今後も上昇しそうだ。

事業承継が進まずに事業継続を断念せざるを得ないケースがさらに増加する可能性がある。

こうした結果の一つとして、「経営者の病気・死亡」による倒産が増加している。福岡県内において「経営者の病気・死亡」を要因とした倒産は、2024 年に 11 件判明し、2000年以降過去最多だった2003年の件数(14件)に次ぐ件数となった。社長が高齢になれば「不測の事態」が生じる可能性は高まり、企業経営にも重大な影響を及ぼしかねない。社長の高齢リスクが高まるなか、十分な期間を設けた事業承継の実施に向けた周到な準備が求められる。

福岡県「経営者の病気・死亡」による倒産の件数(年推移)



株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当:丸山 翔大

TEL:092-738-7779 FAX:092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。